

科目	履修規定	学年	組	単位数	使用教科書
芸術：美術 II	必修選択	2 年	2・3・4・5・6組	2 単位	美術 2 (光村図書出版)

## 1. 学習の目標 (育成したい資質や能力)

美術の創造的な造形活動と鑑賞活動を通して、美的体験を豊かにし美術を愛好する心情を育てるとともに、多様なものの見方や考え方に触れることにより感性を高め、個性豊かな美術の能力を育てる。

関心・意欲・態度	美術を愛好し、美術文化を尊重するとともに、個性を生かして意欲的、主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わっている。
発想や構想の能力	自ら感じた思いや考えたことを活かし、主体的に創意工夫することができる。また、対話 (作品や他者や自己との対話) によって構想を深めている。
創造的な技能	表現意図に沿って、効果的に伝わるように、表現に創意工夫が見られる。
鑑賞の能力	作品から感じる自らの思いや他者の考えに興味や関心を持ち、主体的に批評することができる。

このために評価は具体的に次のようなものを対象にする。

- ・学習活動への参加の状況 (作品制作や鑑賞活動への取組の姿勢や態度、授業中の発言、制作の準備・片付けなど)
- ・プリント学習や学習記録
- ・制作した作品
- ・鑑賞のワークシートなど

また、1年間の評定は1学期・2学期・3学期の年間を通じて、上記の内容を総合的に判断して行う。

## 3. 学習の内容

題材	時間	指導内容	評価規準	評価の方法
・オリエンテーション	3	・学習の目標をもたせ、学習意欲を引き出す。 ・新しい教科書を鑑賞し、ワークシートに記入する。またクラスの友達とそれを基に対話する。	・美術の学習内容に関心を持ち、制作や鑑賞への期待をもっている。 ・鑑賞した作品から感じる自らの思いや考えをもって主体的に対話している。	・鑑賞ワークシート
・色について	3	・色の3原色を使って自分なりの配分で混色する。その色から受ける印象から自分で考えた色に名前を付ける。 ・ワークシートをペアと交換して、ペアが混色した色から受ける印象で名前を付けてそれぞれの名前の違いを確認する。	・教科担任の指示に従って、3原色で混色できる。 ・自分なりの印象から色に名前を付けられる。他者が付けた名前の違いを理解し楽しめる。	・混色ワークシート
・色紙作成	2	・自分の作りたいオリジナルの色を絵具で作り、色紙を作成する。また吹き流し・スパッタリング等の技法を含む色紙を作成する。	・教科担任の指示に従って、色紙を作成することができる。 ・色紙を制作しながら段取り良く行動し、色を楽しむことができる。	・色紙作品
・デッサン (切り絵を含む)	2	・東雲祭のイメージを挙げる。 ・クラスの友達をデッサンをする。モデルとなる生徒は東雲祭というテーマに沿って即興でポーズをとる。 ・構図について説明を受け、画面の骨格を決めることを理解する。 ・前回作成した色紙を用いて、モデルのポーズを即興ではさみで切り取る。	・対象を観察し、短時間で対象の特徴をつかんで表現している。モデルはポーズの自己決定ができる。 ・視点の変化で、表現の変わること理解し楽しんで描いている。	・東雲祭のイメージマップ ・素描作品
・東雲祭ポスターのアイデアスケッチ	4	・前回挙げたの東雲祭イメージを確認する。 ・東雲祭のイメージから、ポスターの図を考え表現し、配色計画を立てる。	・ポスターの効果的な視覚伝達方法を考え、図を構成する。	・アイデアスケッチ
・東雲祭のポスター制作	8	・アイデアスケッチより、丁寧に書きする。 ・制作するポスターに適した書体を選択、またはデザインし、文字をレタリングする。 ・効果的な視覚伝達方法を考え、配色し、ポスターカラーで丁寧に、彩色する。	・東雲祭のポスターという、条件をふまえ、独自の視点を持って表現している。 ・印象的な文字の配列・書体で表現している。 ・イメージに沿った色彩で表現し、色の組み合わせを工夫している。	・ポスター作品
・東雲祭のポスター鑑賞と掲示	2	・自分やクラスの友達の舞台祭ポスターを鑑賞し、良さや工夫した所を発見する。 ・クラス別にポスターを掲示し東雲祭への期待を高める。	・自他の作品の良さや工夫した所を感じ、それを文章で表現している。 ・クラスの仲間と連携をとって、段取りよく掲示している。	・鑑賞ワークシート

二期	・2学期 オリエンテーション	1	・1学期の制作活動をふまえ、美術室の使用法などの注意点や、評価規準について確認する。 ・2学期の制作予定を確認する。	・美術の学習内容に関心をもち、制作や鑑賞への期待をもっている。 ・美術の授業を受ける上で決まりや評価規準について把握している。	・学習 ワークシート
	・色と形を楽しむ ～Zen tangleの世界～ (カッティング制作) アイデアスケッチ	2	・制作の説明を受け、手順を理解しカッティング制作に施す画を考え表現する。	・話し合いによって、発想や構想を深めカッティングに合うイメージ画を描いている。 ・印象的な配色を考えている。	・アイデア スケッチ
	・色と形を楽しむ ～Zen tangleの世界～ (カッティング制作)	8	・カッティング制作の材料の特性を理解し、道具を適切に使用して、作品を制作する。	・技法や用具を表現の意図に応じて適切に使用している。 ・色の調合や配色を工夫している。	・カッティング 作品
	・色と形を楽しむ ～Zen tangleの世界～ (カッティング制作) 鑑賞	2	・自分やクラスの友達が表現した色や形を鑑賞し、良さや工夫した所を発見する。	・自他の作品の良さや工夫した所を感じ、それを文章で表現している。	・鑑賞 ワークシート
三期	・3学期 オリエンテーション ・陶芸の基本について (復習)	2	・2学期の学習活動をふまえ、評価規準や3学期の制作予定を確認する。 ・荒練り・菊練りなどの陶芸の基本的動作と陶土・道具の準備・片付け等を実践で理解する。	・最終学期を迎えるにあたって、評価規準を確認させ、学習態度の振り返りと自覚をする。 ・陶芸の基本について復習し、今後の授業でスムーズな段取りで制作できるようにする。	・陶芸における 段取り力養成
	・ユニバーサル プロダクトデザイン 観賞	2	・身の回りにある身近な物のデザインの工夫について用意したPPの鑑賞から教師の問いに対して考えて発問する。	・身の回りにある身近な物のデザインの工夫について用意したPPの鑑賞と教師の問いを通して気付く。	・次時の アイデア スケッチに 反映されて いるか。
	・工芸 My器制作 アイデアスケッチ	2	・制作の説明を受け、手順を理解する。 ・自分で使用したい器のデザインを考え表現する。	・独自の視点を持って、器に合うイメージ画を描いている。 ・釉薬の特性を考えて印象的な配色をしている。	・アイデア スケッチ
	・工芸 My器制作	8	・材料である土の特性や板作りを理解し、道具を適切に使用して、立体作品を制作する。	・工芸についての理解を制作を通して深める。 ・土で制作することの楽しさと手作りのものへの愛着を感じる。 ・使い手の気持ちを考えて工夫して制作している。	・陶芸作品
	・工芸 My器制作 鑑賞	2	・自分やクラスの友達の作品を鑑賞し、良さや工夫した所を発見する。 ・実際にマグカップは飲み物を入れて使用しながら、釉薬の効用や自分が考え制作した器を鑑賞する。	・自他の作品の良さや工夫した所を感じ、それを文章で表現している。	・鑑賞 ワークシート
・一年間のまとめ	2	・一年間の作品のファイリング、感想・反省点・要望を述べる。	・一年間の頑張った作品をまとめて、振り返る。日々の積み重ねの大切さを実感し、自分やクラスの友達の個性や能力の素晴らしさに気付く。	・ポート フォリオ	

#### 4. 美術の学習で大切にしたいこと

・美術の授業は絵を描いたり、立体作品を制作したり、作品を鑑賞します。様々な造形活動や鑑賞活動を通して、どの様に工夫したら自分の考えや思いが伝わるか、色々な表現を考えていきながら、一時間一時間を大切に授業を進めていきます。  
そして自分とは違う他者の考えや表現を、対話や鑑賞を通して知ること、多様な価値観を受け入れられる柔軟な心を培っていくことを目標の一つにしています。  
また、段取りの大切さを確認し、準備～片付けまでの行程を通して物づくりにおける基本的な態度を身につけていきます。